

「電気通信市場の環境変化への対応検討部会」 検討項目（案）

1 ICT 産業の将来像

メタルから光への移行の進展、通信、放送の融合、コンテンツ配信市場などの上位レイヤー市場の活性化など、電気通信市場を取り巻く環境が大きく変化している。上位レイヤーも含めたグローバル市場において予想される今後の市場動向、次の世代を担う将来のネットワーク開発といった技術動向等を踏まえ、従来の電気通信市場の議論を超えた、日本経済の発展のために求められる ICT 産業全体の将来像を検討する。

2 情報通信市場の更なる発展に向けた取組み

海外の動向を含めたグローバルな視点から、以下のような政策上の課題について検討を行い、日本経済を支える情報通信市場の更なる発展とそれによる消費者の利便向上に資するような世界に通用するルールの在り方を検討する。

- (1) IP 化、ブロードバンド化、モバイル化等の一層の進展を踏まえ、競争政策はどうあるべきか。その際、以下の点を踏まえることとする。
 - ・ インターネットのオープン性の確保、コンテンツ、アプリケーションといった上位レイヤー市場の活性化をどう図っていくか。
 - ・ 国民の基本的なコミュニケーションの権利として、ブロードバンドへのアクセス確保とその利活用の促進をどう実現していくか。
 - ・ 電気通信事業者やコンテンツ・アプリケーションプロバイダによる国際展開の促進をどう図っていくか。
- (2) 上記競争環境の一層の変化を踏まえ、電話によるユニバーサルサービス制度の見直しはどうあるべきか。
- (3) サイバーアタックへの対処を含めた安心・安全なインターネットの実現方策はどうあるべきか。
- (4) 豊かな地域社会の実現のための地域情報化・活性化への取組みはどうあるべきか。
- (5) ICT 産業のイノベーションにつながるような人間が中心となる先進技術を産み出すための研究開発体制はどうあるべきか。
- (6) 多様なサービスが提供されていく中で、CI（Consumers International：世界消費者機構）による権利に照らした国民のコミュニケーションにおける権利保障はどうあるべきか。
- (7) その他情報通信市場の更なる発展のために講ずべき措置は何か。

※ これらの検討項目については、今後、関係者からのヒアリングや意見交換等を通じて、更に整理を行いつつ、検討を進めていくこととする。